

第5回愛☆カラダ塾を開催しました！

2月5日金曜日、あいとう診療所待合室にて第5回愛☆カラダ塾を開催しました。今年度は「美容と健康」を年間のテーマとして開催してきました。

今回は締めくりとして、わ音の森野裕香里さんと井上克己さんに来ていただき、「おたしみコンサート」を行っていただきました。参加者の皆さんが□ずさめる懐かしい歌を歌っていただき、最初は聞いているだけだった参加者



の皆さんも、徐々に手拍子しながら□ずさんでおられました。「とても良かったわ」「涙が流れたわ」といった感想を聞くことができ、主催者としても大変嬉しく思います。

来年度も愛☆カラダ塾の開催を予定しています。どなたでも参加可能ですので、皆さんの参加をお待ちしています。



故事・ことわざで脳トレ！

- ① 不正な手段で得た金は、すぐになくなってしまいうものだという戒め
..... ○○身に付かず
- ② 書物や映画、演劇などのなかで最もすばらしい部分 ○巻
- ③ いつまでたってもよい境遇になれないこと、出世しないこと・○が上がりぬ
- ④ 年をとってから学問や芸事を始めることのとえ ○○の手習い

故事・ことわざで脳トレ！の答え

- ① 悪銭身に付かず
類義語：あぶく銭は身につかない
- ② 圧巻
中国の官吏登用試験（科挙）で最も優秀な答案用紙（巻）を一番上に載せた故事から
- ③ 税（うだつ）が上がりぬ
家を新築し棟上げすることを「税が上がる」といったことから
- ④ 六十の手習い
「七十の手習い」「八十の手習い」ともいう

編集後記

今年の4月であいとう診療所の指定管理を開始してから10周年を迎えることとなります。私が初めてあいとう診療所に来たのは今から20年以上前、まだ私が二十歳くらいの時でした。医学生として初代所長の川嶋先生の指導を受けていましたが、まさかこの診療所が自分の生涯を捧げる場所になるとは想像していませんでした。それから10年ほどが経ち、平成21年4月に所長として赴任した際には、私はまだ29歳でした。地域住民の皆さんに支えられたこともあり、地域医療のやりがいを感じるようになり、県職員を辞め診療所を指定管理する決意に至りました。平成26年4月より指定管理を開始しましたが、移行期は山あり谷ありで沢山の困難がありました。またコロナ禍では私もスタッフも満身創痍の状態になることもありましたが、何とか今日まで診療所の運営を続けることができました。

これからもまた新たな10年に向けて、スタッフ一同が協力して「地域住民さんに愛される診療所」にしていけたらと考えています。（所長）